



南丹市

子どもの未来 応援プラン

～子どもの貧困対策推進計画～

概要版

2020年（令和2年）3月

【本文中の表記について】「子ども」の表記については、子どもの「ども」の字をひらがな表記としています。ただし、国の法令に基づく制度や組織名などの固有名詞は、そのとおりの「子供」表記としています。
例：子供の貧困対策に関する大綱 等

子どもの貧困とは

1 絶対的貧困と相対的貧困

貧困には、絶対的貧困と相対的貧困という2つの考え方があります。

絶対的貧困とは、途上国や戦後の日本等のように飢餓や栄養失調等をもたらす貧困の状況を指し、世界銀行は、国際貧困ラインを「1日1.90ドル未満」で暮らす人を貧困層と定義しています。

一方、相対的貧困とは、その社会における標準的な生活水準に比べて相対的に貧困な状態にあることを指しており、絶対的貧困が大きな課題とならなくなった OECD 諸国等においても相対的貧困は存在し、特に子どもがそうした状態にあることが、子どもの貧困とされています。

2 南丹市の考える子どもの貧困とは

本市では、子どもの貧困を経済的な問題のみでなく、保護者の養育力不足などを要因として、基本的な生活基盤である衣食住の不足、生活習慣の乱れ、心身の不健康、学力や意欲の低下など様々な困難な問題に直面している子どもの状態を「貧困」と定義します。

計画の策定にあたって

1 計画の策定の趣旨

全国の子どもの貧困率は2015年（平成27年）13.9%と、7人に1人が貧困状態であるという深刻な状況となっています。とりわけ、ひとり親家庭の子どもの貧困率については50.8%に達し、まさに2人に1人が貧困状態にあり大きな社会問題となっています。

南丹市においても、子どものいる家庭の状況を把握し、市の施策に役立てるため2018年（平成30年）に「南丹市子どもの生活状況調査」を実施したところ、困難を抱える子どもやその保護者、生活困難な家庭基盤の状況など、深刻と考えられる実態が明らかになりました。

子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されず、子ども一人ひとりが自分の将来に希望が持てる社会の実現を目指して、子どもの貧困対策に社会全体で取り組む必要があります。

そのため、南丹市では子どもの貧困対策を総合的に推し進めるため、「南丹市子どもの未来応援プラン」を策定することとしました。

2 計画の期間

本計画の期間は2020年度（令和2年度）から2024年度（令和6年度）までの5年間とします。

3 計画の対象

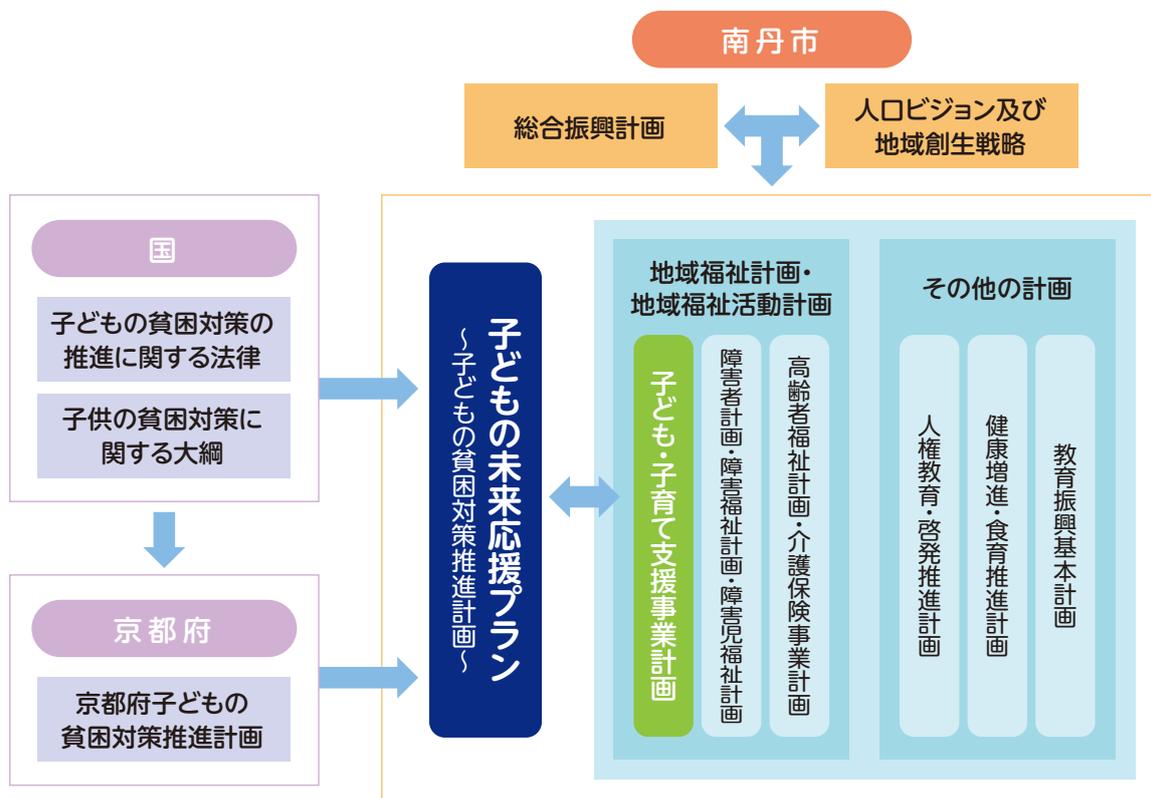
本計画の対象は、現在困難を抱える子どもと将来困難を抱える可能性がある子どもとし、その子どもの保護者も計画の対象に含めます。

なお、本計画の子どもは、「切れ目のない支援」や「貧困の連鎖防止」の視点から、生まれる前の妊娠期から、社会的自立へ移行する年齢層として概ね20歳代前半までの年齢とします。

4 計画の位置づけ

本計画は、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」第4条の地方公共団体の責務を具体化するとともに、国が策定した「子供の貧困対策に関する大綱」等の趣旨を踏まえるものです。

また、「総合振興計画」のほか、福祉関連計画などとの整合を図ります。



子供の貧困対策に関する大綱とは

子どもの将来が、その生まれ育った環境によって左右されることのないよう、また、貧困が世代を超えて連鎖することのないよう、必要な環境整備と教育の機会均等を図るため、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目指しています。

2019年（令和元年）11月には、社会経済情勢の変化等を踏まえて、新たな子供の貧困対策に関する大綱（以下「新大綱」という。）に改定されました。

計画の基本的な視点

1 基本理念

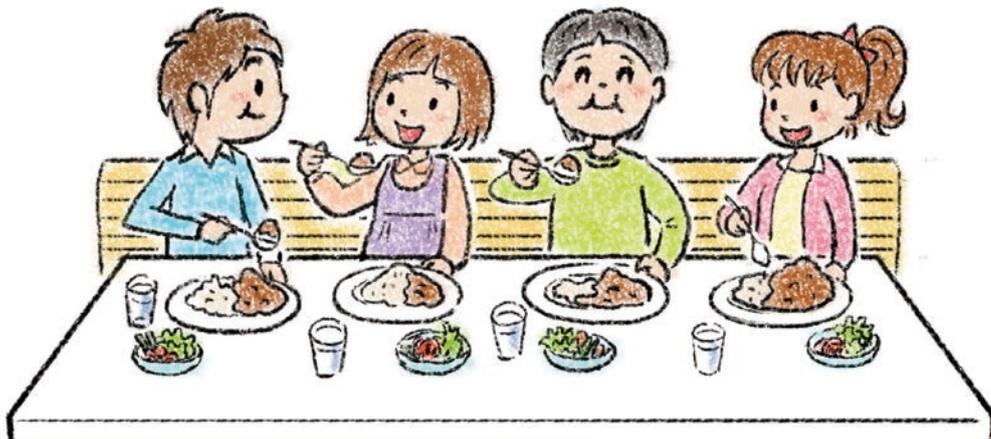
子どもの貧困に関して何ら対策をとらなければ、子どもの明るい未来を閉ざすだけでなく、次世代の社会を担う人材が減少し、結果的に経済活動の縮小や社会保障費の増大につながり、大きな社会的損失をもたらす可能性もあります。

すべての子どもが安心して心豊かに育ち、自らの可能性を發揮して個人として幸せに暮らせる未来を切り拓いていけるよう、下記の基本理念を掲げます。

基本理念の実現に向けては、子どもの貧困対策として取り組む様々な事業や活動の中で、支援者は子ども達一人ひとりの状況を理解し、粘り強く向き合い、成功体験を増やすことで子ども達の自己肯定感を高めることを意識した支援に努めるとともに、課題を抱える保護者や子ども達に寄り添い、課題に応じた切れ目のない支援に努めます。

すべての子ども達が、その生まれ育った環境に左右されず、
自分自身の生きる力を高め、未来を切り拓き夢をもって
成長していける社会の実現を目指します

貧困家庭に生まれた子どもが大人になっても貧困から抜け出せないのが「貧困の連鎖」です。この連鎖を断ち切るよう取組を進め、すべての子ども達が、自分の夢を実現できる社会を実現したい。



2 基本目標

基本理念の実現のため、以下の3つの基本目標のもと、様々な施策を総合的に推進します。

基本目標

子どもの健やかな育ちと安心して過ごせる環境の支援

子どもが健やかに成長し、それぞれの希望を実現することができるようにするため、子育て家庭の健康づくりへの支援とともに、子ども達を地域社会の中で健やかに育てるための環境づくりを図ります。

また、家庭環境や経済状況により、子どもの教育・進学や多様な経験の機会が奪われることのないよう、子どもの学習・進学に向けた支援を図るとともに将来の自立支援に向けた取組を推進します。

さらに、子どもが社会的に孤立せず、放課後に安心して安全に過ごせる居場所や地域の中での交流や体験を通じて、社会性や自立する力が身につく機会の充実を目指します。

基本目標

2

生活基盤の安定と経済的支援

保護者の就労は、安定した生活基盤のためには重要であり、また安定した就労は、ゆとりをもって子どもと接するためには重要です。

保護者が安心して就労できるよう子育て支援の充実を図るとともに、保護者の安定した就労につながる支援や家計の安定を図るための支援などにより、家庭の経済的不安定さを和らげ、生活基盤の安定を図ります。

また、子育て家庭において収入に占める養育費や教育費の負担割合が高い場合が多く、支援を必要とする家庭が増えています。

様々な家庭の実態に対応した経済的支援策を適切に実施します。

基本目標

3

社会全体での気づきの醸成と支援への仕組みづくり

核家族化の進行による社会や地域からの孤立、孤独化や、子育てをしながら親の介護をする「ダブルケア」は、子育て世帯の家族が直面している重要な問題です。また、ひとり親家庭や生活保護世帯は、何らかの生活困難を抱えていることが多く、特に支援が求められています。

こうした中で、子ども達が置かれている状況は、経済的な問題以外に複合的で複雑に絡みあう場合も多くあり、子どもの様子からは家庭の課題が見えづらいこともあります。こうした状況があることも視野に入れて、行政の中での気づきに加え、最も身近な地域において、地域全体で気づき、支えていく支援体制の整備を進めます。

3 施策体系

基本理念

すべての子ども達が、その生まれ育った環境に左右されず、
自分自身の生きる力を高め、未来を切り拓き夢をもって
成長していける社会の実現を目指します

基本目標

基本目標 1

子どもの
健やかな育ちと
安心して過ごせる
環境の支援

- (1) 子どもの健やかな育ちの支援
- (2) 子どもの居場所づくり・
交流や体験機会の充実
- (3) 子どもの学びの支援
- (4) 将来の自立に向けた
若者への支援

基本目標 2

生活基盤の安定と
経済的支援

- (1) 保護者への生活支援
- (2) 保護者への就労支援
- (3) 経済的支援
- (4) ひとり親家庭への支援

基本目標 3

社会全体での
気づきの醸成と
支援への
仕組みづくり

- (1) 連携体制の構築
- (2) 気づき・つなげる人材の育成
- (3) 社会全体での子どもの支援

基本施策

施策の方向性とその展開

基本目標

子どもの健やかな育ちと安心して過ごせる環境の支援

(1) 子どもの健やかな育ちの支援

【施策の方向性】

子ども達が未来に希望を持ち、社会を生き抜くためには、心身の健全な成長が重要です。

しかし、「子どもの生活状況調査」からは、生活困難を抱える家庭では、健康状態がその他の家庭に比べ悪かったり、休日の欠食がみられます。

そのため困難を抱えている家庭の子どもをはじめ、すべての子どもの健やかな成長を支えるため、育ちの支援に取り組みます。

また、学校を窓口として、不安や悩みを抱える子ども達一人ひとりに寄り添った相談を行うなど、きめ細やかに対応できる体制を整備します。

【新規事業】

食事の提供支援についての研究

こども食堂の設置のない地域での食事支援のあり方について研究をします。



活動団体名：Coco Can
【事業名：こども食堂『な釜』】

(2) 子どもの居場所づくり・交流や体験機会の充実

【施策の方向性】

「子どもの生活状況調査」からは、生活困難を抱える家庭では、子ども達が放課後を過ごす場所は、その他の家庭に比べ「学校（部活動など）」や「公園・広場」が多く、「家族」と過ごす割合が低くなっています。また、生活に困難を抱える家庭の子どもは、悩みや不安を抱えている割合が高く、相談相手がいない状況も多い傾向がみられます。

子どもの心身の健やかな成長にとっては、安心安全であり、過ごしやすい環境が常に身近にあることが大切です。

そのために、放課後等に就労などで保護者が不在となる子ども達や、様々な困難を抱えている子ども達に、地域の中に家庭以外に子ども達が安心して過ごすことができる居場所の充実を図ります。

また、居場所や地域の中での交流や体験を通じて、社会性や自立する力が身につく機会の充実を目指します。

【新規事業】

第三の居場所開設

家庭生活の支援が必要な子どもを発見するとともに、家庭や学校に代わる、子ども達が安心して過ごすことができる小学生対象の居場所を園部地域に開設します。居場所では心の豊かさや生きる力を向上させることを目指し、個々に応じた支援を行います。

(3) 子どもの学びの支援

【施策の方向性】

貧困の連鎖を断ち切り、子どもが自らの将来を切り拓いていくためには、世帯の所得の状況に関わらず、均等に教育を受ける機会が保障されることが不可欠です。

しかし、「子どもの生活状況調査」からは、生活困難を抱える家庭では、その他の家庭に比べ、経済的な理由から塾や習い事に通う割合が低く、また、基本的な生活・学習習慣が身に付いていない状況がみられます。

家庭環境や経済的な状況によらず、学習意欲や学習習慣を身につけ、学習ができる環境づくりや、希望に応じた進学ができるよう相談や学習支援、経済的支援などを行います。

【新規事業】

学習サポーターの登録・派遣

経済的な理由により塾に通えない子どもや不登校の子どものための学習支援を行うサポーター（学生等）を募集し、NPO等が開設する居場所などへの派遣を行います。

(4) 将来の自立に向けた若者への支援

【施策の方向性】

非行や不登校、引きこもり等、複合的で複雑に絡み合った青少年の問題については、関係機関が相談・支援体制の強化を図りながら、連携した支援に取り組みます。

また、家庭の経済状況が困難であるために、就学の機会や就労の選択肢が狭まることのないよう、若者の進学支援や就労支援をし、貧困の連鎖を防ぎます。

【新規事業】

進学に向けた支援情報の周知の強化

進学に向け、中学生や高校生にもわかりやすい「支援制度の手引き」を作成し、各種支援制度の周知に努めます。

子ども達への情報発信の強化

居場所開設や進学にかかる情報などを、子ども達自身が受け取れるように、SNSなどを活用した情報発信を行います。



活動団体名：NPO 法人そのべる
「事業名：こどもの居場所づくり」



活動団体名：NPO 法人グローアップ
「事業名：みんなで集える、みんなの居場所 seed base」



活動団体名：ドリームえんじんネットワーク
「事業名：ドリームキャンプ」



キャンプの様子を
2分にまとめた動画



基本目標 2 生活基盤の安定と経済的支援

(1) 保護者への生活支援

【施策の方向性】

生活に困難を抱える家庭に対し、家庭の経済的不安定さを和らげるため、家計や収支の見直しについての相談・助言等の機会を充実させることにより、生活の安定を図ります。

【新規事業】

モノ支援

制服や学用品などのリユースの仕組みを検討します。

(2) 保護者への就労支援

【施策の方向性】

生活に困難を抱える家庭では、その他の家庭に比べ、保護者の就労状況は非正規の就労形態であったり、就労していない状況が多くなっています。

保護者が安心して就労できるよう子育て支援の充実を図るとともに、保護者の安定した就労につながる支援を行います。

(3) 経済的支援

【施策の方向性】

就労による収入だけでは十分な収入を得られない家庭に対し、各種手当を支給するほか、各種制度の利用時において、減免等による負担軽減を図ります。



活動団体名：南丹市国際交流協会
「事業名：外国人のための日本語教室」

◇できること◇

相談者が今困っていることの整理や解決方法を一緒に考えます。

- 家計の収支の見直しや支払い方法の助言
- 就職や転職活動への助言やハローワーク等への同行
- 債務整理など専門職へのつなぎ など



活動団体名：南丹市社会福祉協議会 生活相談センター

(4) ひとり親家庭への支援

【施策の方向性】

「子どもの生活状況調査」からは、ひとり親家庭は、不安定な就労・低所得の人が多い状況であり、生活に困難を抱える家庭の割合は55.1%とひとり親ではない家庭に比べ高くなっています。そのため、ひとり親家庭に対する経済的支援とともに、保護者が自分の状況にあった就職の実現や、安定した雇用形態での就職となるよう支援します。



活動団体名：南丹市母子寡婦福祉会
「親子のつどい、交流会、相談事業など」

基本目標 **3** 社会全体での気づきの醸成と支援への仕組みづくり

(1) 連携体制の構築

【施策の方向性】

「子どもの生活状況調査」からは、生活に困難を抱える家庭では、その他の家庭に比べ、心配事や悩み事の相談相手がない割合が高くなっており、周囲の目を気にして支援を求められなかったり、地域の目が届かず、社会的に孤立しやすくなっている状況がみられます。

また、生活に困難を抱える家庭の子どもも「新しい文房具」、「携帯電話、スマートフォン」などを持っていたり、「誕生日のお祝い」をもらっていたりする割合は高く、そうではない家庭の子と見分けることが非常に難しい状況がみられます。

生活に困難を抱える子どもや家庭に早期に気づき、適切な支援につなげていけるよう、様々な事業や健診などの機会に困り事に気づき、支えていく支援体制の整備を進めます。

また、地域、学校、関係団体、行政等の専門機関の連携を強化し、切れ目なく制度や支援に確実につなげていく体制を整えます。

【新規事業】

庁内連携組織の設置 (庁内調整会議の設置)	子ども・若者の現状や課題等の実態を詳細に把握し、子ども・若者への支援と家庭環境の改善に向けた具体的な解決策の検討を行う包括的な庁内の支援体制を構築します。
気づきマニュアルの作成	困難を抱える家庭ほど、行政や民間の相談窓口や支援策の情報を得られず必要な支援につながっていない傾向にあるため、自発的な相談がなくとも、家庭の状況に気づける体制づくりが必要です。そのため、母子保健事業の様々な場面や、保育所、幼稚園、小学校、中学校、放課後児童クラブ、児童館など日々子どもや保護者と接する機会が多い関係機関や相談時の支援者に向けた「気づきマニュアル」を作成し運用します。

(2) 気づき・つなげる人材の育成

【施策の方向性】

生活に困難を抱える子どもや家庭に早期に気づき、適切な支援につなげていけるよう、子どもや家庭に最も身近な地域において困りごとに気づき、地域で見守る人材の発掘、育成を推進します。

【新規事業】

子どもの貧困への理解の推進	日頃から子どもや家庭と関わる関係機関の関係者をはじめ、地域の支援者や広く市民に対し、困難を抱える子どもの現状や支援などについて、子どもの貧困への関心や理解を深めるための研修等を実施します。
---------------	--

(3) 社会全体での子どもの支援

【施策の方向性】

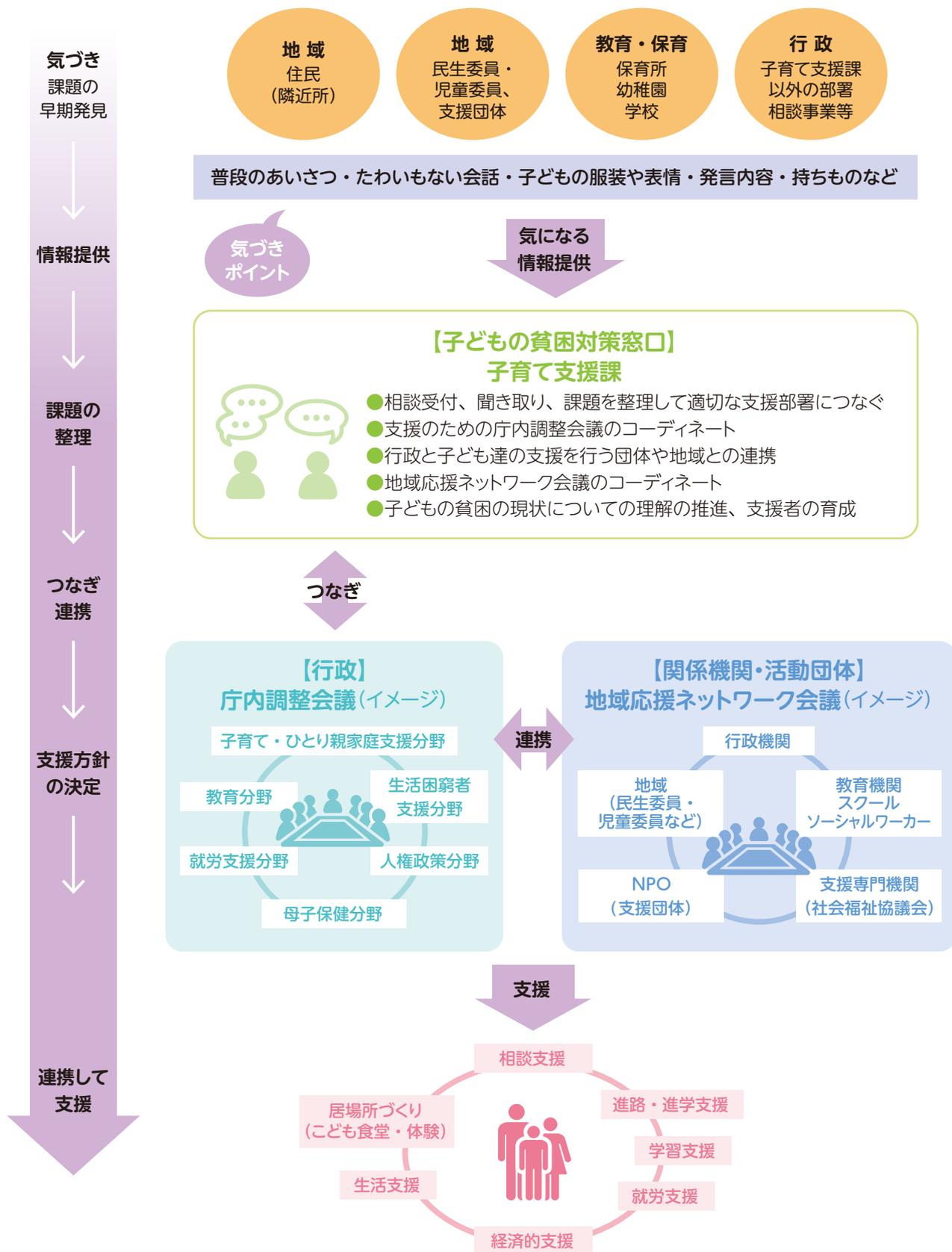
子どもの貧困を社会的に重要な課題として認識し、社会全体で子どもの支援を図るための情報発信や当事者団体等への支援を行います。

【新規事業】

地域応援ネットワーク会議（仮称）の開催	行政だけでなく、関係機関や子ども達の支援を行う団体等と連携し、市全体で貧困対策に取り組む体制を整えます。
持続可能な支援活動の研究	各地域での取組を継続的なものとするために、活動資金の確保などについて研究を行います。
情報発信についての研究	子育てに関する情報を市民が容易に入手できるような情報発信の仕組みについて研究を行います。（SNS、アプリなど）

社会全体での気づきと支援への仕組み

市民や地域、行政など、それぞれの主体が相互に連携しながら、横断的に支援を行います。



計画の推進

1 計画の推進体制

(1) 全庁横断的な推進体制

子どもの貧困問題は複雑多様であり、その対策に関する施策は広範にわたることから、庁内の関係部署が連携して施策の推進を図ることが重要です。

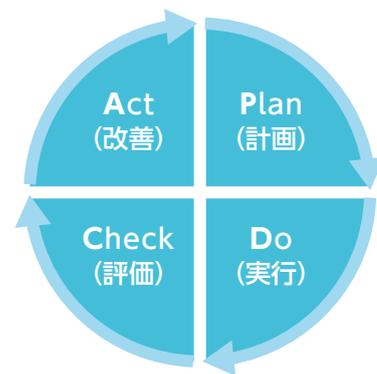
「子ども・子育て支援事業計画」をはじめ、各種個別計画で実施している関連事業を一体的に推進するにあたり、庁内での課題の共有とそれに応じた施策や事業を推進するために各担当課との連携を図り、市全体で子どもの貧困対策に努めます。

(2) 地域連携による推進体制

子どもの貧困対策の取組をより効果的なものとするためには、行政だけでなく、市民や地域組織、相談・支援機関等がお互いの役割と特徴を理解した上で協働し、連携を図っていく必要があります。そのため、社会福祉協議会等と連携して、地域で活動している支援団体や各組織に配置される相談員等の連携をより一層深めるためのネットワークを構築し、それぞれのメリットを生かしながら、一体的に貧困対策の推進に取り組んでいきます。

2 計画の進行管理

本計画の適切な進行管理を行うため、事業の取組状況について毎年度調査を行います。また、継続的なPDCAサイクルを確立し、社会経済状況などの環境の変化も踏まえて、各事業の検証を行うとともに、必要に応じて見直しや改善を図るなど、子どもの貧困対策に効果的な施策を推進していきます。



南丹市子どもの未来応援プラン

～子どもの貧困対策推進計画～

● 概要版 ●

2020年（令和2年）3月

発行：南丹市

編集：南丹市福祉保健部子育て支援課

住所：〒622-8651 京都府南丹市園部町小椋町47番地

TEL：0771-68-0017 FAX：0771-68-1166